

彼女にはまだ早い



日本コカ・コーラ副社長 **田中美代子**
たなか みよこ

若輩者の私でも、最近キャリアについて誰かの相談に乗ったり、僭越ながら助言したりする機会が増えてきた。新しい役割に挑戦するか否かと悩んでいる人に対して、私は基本的にどんだんやつてみたらいいと勧めている。半ば無責任に聞こえるかもしれないこの助言には、実はれつきとした3つの理由がある。

まず初めに、その役割をやってみたいと悩んでいるのは、必ずしも自分1人だと思わない方がいい。大抵の場合、他にも興味を持っている人や候補者がいて、時間をかけて悩んでいるうちに、他の人に決まってしまうということは十分に考えられる。

第2に、昨今の目まぐるしい変化のスピードを考えれば、今日ベストだと思っていたことが、一夜にして状況が変わり、翌日には方向転換を迫られるケースも往々にしてある。やろうかどうしようかと悩んでいるうちに、事情が変わって、その役割そのものがなくなってしまうこともあるだろう。

そして第3に、そもそも新しい役割を引き受ける際に、何の不安もなく自信満々で臨んでいる人は、一体何人いるだろう。謙遜しが

ちな日本人ほど、その役割に求められる能力と自分の能力との間にギャップを見いだしやすく、自分に果たして務まるだろうか、まだ早いのではないかと、と思ひ悩むのではなからうか。いつか万事準備が整った時に挑戦しようと思っても、その「いつか」はひょっとして永遠に来ないかもしれないのである。

かくいう私も、これまで不安や自信のなさを抱えながら、有難いことに何度か新しい役割に挑戦するチャンスを与えられてきた。きつとその度に、誰かがこう言ったはずだ。「彼女にはまだ早い」と。

しかし、今の私があるのは、そんな言葉を打ち消し、未熟さの中にも何らかの可能性を見いだして、私の成長を手助けしようとしてくれた人々のおかげに他ならない。

であるならば、私もそんな風に誰かの背中を押す存在でありたいと思う。そして「あの人にはまだ早い」という時には、あとのくらしい経験したら、具体的にどのようなスキルや能力が備わったら自信を持って推薦できるのかを示し、それを支援していきたいと考えている。